

20230120 専攻科特別研究発表会挨拶

みなさん、おはようございます。

校長になってから研究会や学会に行く機会がつかれなくなって、みなさんの発表を聞くのをとても楽しみにしています。

昨年は分散での開催でしたが、今年は全員が集まって行うことができます。参加者からいっぱい意見をいただけるよう、頑張って発表してください。

みなさんの研究は、データを取り、考察し、仮説を立て、それを検証するということを繰り返されてきたと思います。このやり方は、社会に出て、課題を解決するときの方法につながります。研究のためだけの方法ではないことを心に留めておいてください。

昨年の中間発表のときに、『研究とその発表は、考える力を鍛え、その考えを説明する力を鍛える一番の方法です。』と、話してきました。みなさんはいろいろなところで発表し、鍛えてきたと思います。今日の発表もそれらの力をさらに鍛える場にしてください。

また、『研究はやればやるほど疑問がでてきますが、面白さもわかってきたのではないかと思います。』ということも、話してきました。この点はいかがでしょうか。やり残した、と思われる方は、まだ 1 カ月、打ち込めます。今の結果に新しい 1 行を追加してください。

みなさんが社会に出ると、専攻の異なる人たちがグループを作って、チームで仕事をすることになります。そこでは他の人のことをどれだけ理解できるかというのが大事になってきます。

今日は、よく知った同級生の発表を聞くことになると思いますが、それでもさらに理解を深めることができるよう、お互いに質問して下さい。

最後になりましたが、学生の研究を支援して頂きました先生方に感謝申し上げます。また、学生達にこのような専攻科特別研究発表会の場を準備していただきました、すべての教職員の方々に感謝申し上げます。

それではみなさん、発表会を始めましょう。